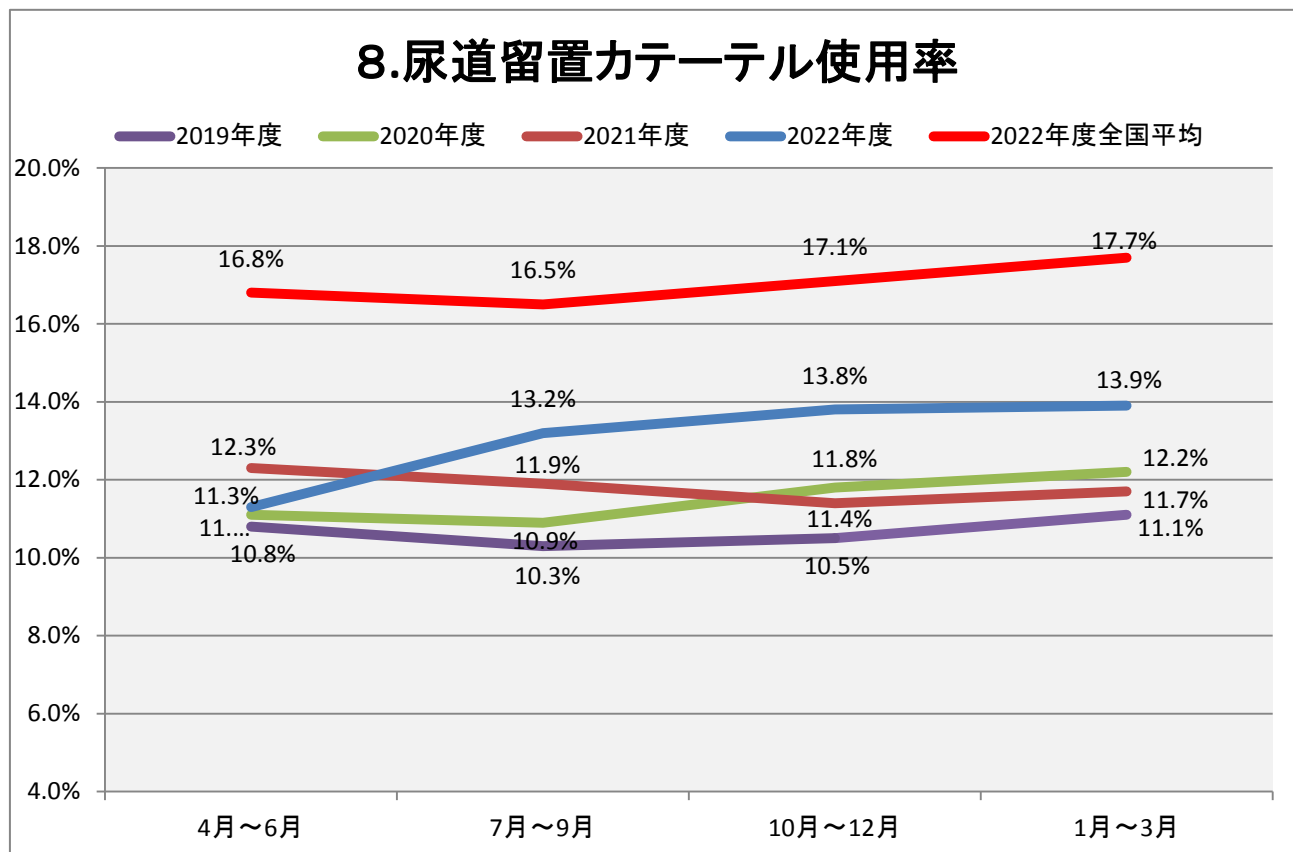


8.尿道留置カテーテル使用率

(1) 調査結果



調査期間	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
2022年度	11.3%	13.2%	13.8%	13.9%
2021年度	12.3%	11.9%	11.4%	11.7%
2020年度	11.1%	10.9%	11.8%	12.2%
2019年度	10.8%	10.3%	10.5%	11.1%
2022年度全国平均	16.8%	16.5%	17.1%	17.7%

- (2) 指標の説明 尿路感染症は医療関連感染の中でも最も多く、約40%を占め、その80%が尿道留置カテーテルによるもの、CAUTIです。医療機関で起こる血流感染の15%はCAUTIの合併症であると推計されており、その寄与死亡率は15%を超えます。CAUTIのリスクは医療機関、部署、患者の特性に左右されますが、エビデンスレベルが高い予防策の実施により、CAUTIの65%～70%は予防可能と推計されています。

- (3) 定義 分子：尿道留置カテーテルが挿入されている延べ患者数
分母：入院延べ患者数